

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	あったかハウス松元
(ユニット名)	すみれ
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿児島市石谷町1211-23
記入者名 (管理者)	南文代
記入日	平成 19 年 5 月 1 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	あったかハウス運営理念として、「ゆっくり、ゆったり、けれども、しっかり」を掲げ、日々よりよいケアを行えるように努力している。	○ 日々のミーティングで常に話題にしている。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝の申し送り後、理念を唱和し、各職員とも理念の実践に取り組んでいる。	○ 業務中は、常に理念を意識し、ケア、コミュニケーションに努めていきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、地域交流会を通じて、理念・方針を説明し、施設を開放し気軽に立ち寄って頂ける様に取り組んでいる。	○ 地域交流会を、現在以上に深めて行きたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方々とは、あいさつを交したり、畑を作っておられるので、野菜を頂いたりしている。	○ 地域の方々は、交流を行っているが、隣近所の方は、当施設での利用者との関わりが少ない。また施設の中に入る事は無く、日頃から気軽にお茶を共に出来るように取り組みたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の運動会・地域の文化祭・バザーに参加している。また、地域交流会にて、地域の小学校を招待したりして、交流を深めている。	○ 自治会・老人会等の話し合いに、当施設を利用して頂き、そこから交流を図って行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を設け、民生委員の方にも参加して頂き、情報交換を行っている。	○	地域へまっ茶便りを配布し、その中に相談等を気軽に受けられるような、項目を書き入れる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で、指摘を受けた事は改善し、ケアの向上に取り組んでいる。	○	よりよい施設を目指し、よりよいケアを行えるように、自己評価を行い、外部評価を参考にしている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員・家族・事業所スタッフと情報交換を行っている。	○	利用者で参加できる者は、運営推進会議に参加し、利用者側からの意見を発表してもらおう。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	以前は、市町村へパンフレットを配布し、施設を理解していただき接点を持ち、サービスの向上に努めていたが、現在はしていない。		今後は、まっ茶便り等を市町村にも配布し接点を持ち、共によりよいサービスが出来るように励みたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員研修・その他の研修において、常に説明の機会を設け、スタッフの理解と活用を促している。	○	管理者・職員は権利擁護に関して研修・意見交換にて学んでいる。研修等に参加し学んだ事は、勉強会・ミーティング等で報告し、情報の共有を行っている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待について、常にミーティングで議題に挙げ、職員間で意見交換を行い、防止に努めている。	○	今後とも、研修等への参加を継続し学び、常に虐待の無い施設を目指して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	<p>入退居前、個人及び、御家族との面談及び、家族会でじゅうぶん説明を行い、理解・納得して頂いており、退去後のアフターケアは運営者・スタッフとも携わり支援している。</p> <p>退去後のフォローや、御家族への連絡などを行っている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>地域の方々を含めた運営推進会議を、定期的で開催し、利用者の意見・不満・苦情等について話し合っている。</p> <p>運営推進会議での意見を尊重し、出来る限り取り入れ、入居者様にとってよりよい環境を提供できる様に努めている。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	<p>電話での連絡・月1回のお手紙にて近況報告を行い、またご家族様来訪時、出納帳確認後サインを頂いている。</p> <p>家族に送る手紙に、本人の暮らしぶりがもう少し分かりやすい様、行事予定や、行事に参加された様子も書き込むようにしたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>家族会を開催し意見交換を行い、また意見箱を設置し、来訪時に気軽に記入して頂ける環境を整えている。</p> <p>家族会・面会時・ご意見箱等での、御家族様よりの意見を尊重し、出来る限り取り入れ、よりよい施設を目指している。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>定期的な職員研修やミーティングを行い、運営者や管理者との会合を設け、意見交換を行っている。</p> <p>今後とも研修・ミーティングを通じて意見交換を行い、入居者様・御家族様の満足の出来るケアを行えるように目指していきたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	<p>緊急時に備えたスタッフの人員を揃え、対応できる様に話し合っている。</p> <p>特別な模様霜のを開催する時の人員の増員、緊急時に対応できるように努めている。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>退職による人員の補充のみで、常に馴染みの職員にて支援している。</p> <p>馴染みのスタッフで支援できる様に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者、職員の質の向上にむけて、必要に応じた研修を紹介し、積極的に取り組むように奨励している。</p>	○	スタッフ側からも運営者・管理者へ、研修等への参加を要請したりしている。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同系列の施設があり、常に情報交換を行い、お互い良い点を取り入れる様に努めている。	○	地域の同業者とのネットワーク作りに取り組んでいきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	親和会にて職員懇親会を設けて気分転換を行い、日々の仕事でのストレスの軽減に努めている。	○	職員の希望により懇親会の場所を決めている。また職員の家族等も参加できるシステムで、職員の家族ぐるみでの懇親会を行っている。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員それぞれに担当者や、担当の係りを持ってもらい、個々の能力を発揮出来るように、環境作りに努めている。	○	職員の得意とするものを見出し、仕事に発揮出来るようにしていきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人・ご家族様から現在までの生活・健康状態を聞き、出来るだけ自宅に居た時と変らない生活が出来るように努めている。	○	本人・ご家族様より、本人の経歴・性格・好き嫌い等の情報を引き出し、よりよく知る事で本人とのコミュニケーションを円滑に行い、お互いに良い関係を気づいて行ける様に努めている。また、これまでの人生経験や、得意な技術が、更に日常に活かされるように努めたい。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご家族様・特に現在まで一緒に暮らしてこられた方より、その人らしく生活して頂くための、多くの情報を得るように努めている。	○	キーパーソンだけでなく利用者周囲からも情報を得られる様に努めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	すぐに対処できない事もあるが、ご家族様の意向にあったサービスを検討し処遇を行っている。	○ 介護スタッフだけでなく、協力病院やDr.からの意見も取り入れ、サービスに活かして行きたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居にあたって、他入居者様・スタッフについて、自己紹介を行い、レク等を通じて馴染みやすい環境を作る。また、ご家族様に相談し、出来る範囲で面会等をお願いし、本人に安心して生活して頂ける様に支援している。	○ 現在の方針を継続して行きたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会話やコミュニケーションを取ったり、軽作業を一緒に行う上で信頼関係を築けるように努力している。	○ わずかな時間でもいいので、毎日、入居者様全員と話す時間を見つける。そこから徐々に信頼関係を築きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会を催したり、手紙や面会での意見交換で楽しみを持って貰えるように努めている。	○ 現在の方針を継続して行きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会での交流・手紙での近況報告を行い、接点を多くしている。	○ 毎月、定期的にご家族様にお手紙を出し、入居者様の状態・近況を報告し、コミュニケーションを取っている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達・ご近所の方・親戚等、面会に来られた方々の受け入れを通じて、これまでの『つながり』を継続できる様に支援している。	○ ドライブ等で、馴染みの場所に行ける様に支援して行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事やお茶の時間に、スタッフが入居者様の間に入ったりして、入居者様同士の繋ぎ役を務め、お互いにスムーズに接する事が出来るように支援する。	○ 特定の利用者だけに話しかけるのではなく、普段あまり発言されない方には、意識して声をかけ、皆の輪にとけこむことが出来るように支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	日常の生活の一部を手伝わせていただいたり、面会に行ったりさせて頂いている。サマリーを活用し情報交換を行っている。	○ 環境の変化によるダメージが、最小限に済むようにプライバシーに配慮しながら支援していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	帰宅願望がある場合は、外出・外泊等にて本人の気分転換が出来ないか、ご家族様に相談したり、好きな食べ物等を食事メニューに取り入れたり、出来るだけ希望・意向に沿うように支援している。	○ 入居者様に満足な生活を送って頂ける様に、日々のモニタリングにて観察し、本人の意向を尊重した環境作りに取り組んでいきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族様より、これまでの生活暦を聞き出し、施設内での生活に役立てるように務めている。	○ ふるさと訪問等を行い、その土地での友人・知人達と触れ合う機会を持てるように支援して行きたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活を観察したり、これまでの生活暦より、総合的に見極め判断し、無理のない本人の生活しやすい環境にてマイペースに過ごして頂けるように支援している。	○ 現在の方針を継続して行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族様の意見を取り入れ、相互納得のいくケアプランの作成にあたっている。また、本人をモニタリングし、ニーズを見極め、負担にならない程度に生活リハビリを取り入れ、有する力の維持・向上に取り組む形で作成している。	○ ケアプラン通りに、入居者様本位のケアが行われているか、ケアチェックを毎日行って評価をし、またそれで本人の状態の確認をし、今後のケアプラン作成に役立てている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人に肉体的・精神的な変化があった場合は、その旨をご家族様に報告し、迅速に介護計画の見直しを行い、了承を得て新たな介護計画の作成にあたっている。	○ 現在の方針を継続して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の申し送り・モニタリング・ミニカンファレンスを行い、本人にとってよりよいケアが行えるように努めている。</p>	○	現在の方針を継続して行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族様の面会時に、居室で一緒にお茶をされたり、また食事を施設にて一緒に召し上がって頂いたりして支援している。</p>	○	ご家族様の要望に合わせて、入居者様の居室にての宿泊が出来る体制を、取る事が出来るように目指して行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域交流会を、毎月行っている。また運営推進会議にて、民生委員の方々・スタッフ・ご家族様方を交えて話し合い、意見交換を行っている。</p>	○	地域の各団体と少しずつパイプを作っていき、現在以上に交流を深めて行きたい。
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在は行っていないが、今後は包括支援センターの協力を得て、入居者様方の地域への参加を目指している。</p>	○	市町村が仲介に立ち、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いをする場を設けて欲しい。
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>本年度より、運営推進会議への参加が出来ること伺い、入居者様方の為に何が出来るか、事務所・運営推進委員と共に話し合っている。</p>	○	今後、地域包括支援センターと相談し、ケアマネジメントについて協働して行きたい。
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族様の了承を得て、定期検診・居宅療養管理指導を受けている。</p>	○	入居者様の健康状態を良好に保ち続ける事が出来る様に、今後とも協力病院と連携をとって行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院があり、随時、認知症の専門医と相談しケアに努めている。	○	認知症の進行について、電話・お手紙・面会時等でご家族様に報告し、承諾が得られれば、脳の検査を行っている。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力病院があり、看護職員に相談しながら、日々の健康管理や医療活用の支援をしている。	○	協力病院よりの看護スタッフと連携を取り入居者様の健康状態を良好に保てるように支援している。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院があるため、情報交換や相談は万全であり、連携をとって早期退院を目指している。	○	協力病院との連携を、現在以上にスムーズに取る事が出来るように、確実な情報交換を行って行きたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人・ご家族様へ『見取りの指針』について説明を行い、協力病院Dr. と相談し、よりよいターミナルケアが行えるように支援している。	○	ミーティング等にて、スタッフ間で個人個人のターミナルケアについて話し合い、本人の過ごし易い環境を整えていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様・協力病院・介護スタッフと意見交換し取り組んでいる。	○	入居者様・ご家族様・協力病院の意見を取り入れ、出来るだけ本人の希望に添った生活が、出来るように支援して行きたい。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入退去の際には、文書にて情報交換を行い、必要に応じて連絡を取り、必要情報を入手する。またご家族様とも相談し、本人の特徴をつかみ、自然な形で住み替わられるように支援する。	○	住み替え場所に徐々に慣れていけるよう、退所する前に、その場所に一度または度々訪れてみる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>人生の先輩でもあり、スタッフ一人一人言葉使いや対応に気を付けている。記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>	○	<p>入居者様一人一人の誇りやプライバシーを尊重し、入居者様の納得のいくケアが出来るように、日々精進していきたい。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>何事にもゆっくり噛み砕いて、解かりやすく説明を行い、食事の献立等の希望を募り、本人の食べたい物を食べられる様に支援する。</p>	○	<p>言葉に出して伝えられない時もあるので、理念を年頭に入れて、ゆっくりと待つ姿勢で、入居者様と接し、自己決定出来るようなケアを目指したいです。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>天気の良い日の散歩希望者に対して、順番に臨機応変に希望に添って支援している。</p>	○	<p>業務中心でなく、個人中心のケアが出来るように、入居者様のペースに合わせて支援している。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>生活のメリハリを付けるために、就寝時はパジャマ更衣を促したり、起床時・入浴後はプランでの整容を行っている。また外出時等は、好みの洋服を選んで頂いている。</p>	○	<p>訪問美容院が来られた時は希望する髪型を自発的に伝えられるよう、ヘアスタイルブック等を準備する。</p>
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>日常会話の中で希望を取り入れている片付け等出来る方は、お盆にお茶碗をのせていただいたり、その後の洗った茶碗等を拭いていただいたりしている。</p>	○	<p>食事の好みを尋ね、外食ができないか検討してみる。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>本人の望むアイスクリームを家族と連携して準備して摂取量を考慮しながら提供している。</p>	○	<p>家族、主治医等に相談し、日を決めてアルコール度数の低い物の提供ができないか検討してみる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各入居者の排泄チェックを行い、排泄パターンを把握し出来るだけトイレでの排泄を促すよう援助している。	○ 出来る所は本人に任せ出来ない事や危ない所で手を差し伸べ援助したい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人希望に合わせた時間帯で入浴されている。洗髪洗身時痒い所がないか尋ねている。	○ 立位、自分での体整維持困難者で体重が重い方が浴槽に安心して気持ちよく入れる工夫を考えたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食を召し上がられ、休みたいと言われる時など昼寝を促すなど対応している。	○ 入居者様のレベル、健康状態に合わせて、適度に休息を取って頂き、入居者様の過ごしやすい環境を作る事が出来るように支援する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌謡曲を聞いたり、畑仕事をされてきた方には、草取り等を行って頂いたりしている。	○ 幅広いレクリエーションを取り入れ、そこから得意とするもの、興味をそそるものを見付けて行きたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談した上で、本人にいくらかお金を渡し、管理して頂いている。	○ ご家族様と相談し、施設への訪問販売(安価な物)が来た時には、入居者様本人に品物を選び、支払いが出来るように支援して行きたい。(パン屋等) また外出した際にも同じように支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人一人に声をかけ、本人のペースに合わせて、庭に出て散歩へと促したり、ドライブ・地域の行事参加にて支援している。	○ いつも決まった場所へのドライブになってしまうので、外出先をスタッフ間で話し合い、いろいろな場所に行けるようにして行きたい。また季節に応じて、行楽地へのドライブを支援する。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族様と相談し、時々、面会・面会・外出の機会を作って頂き、ドライブや自分の住んでいた家等へ行けるように支援している。	○ 外食が出来ないか、現在、検討中である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月、近況報告のお手紙を送っている。	○ 身寄りが近くに居られず、県外に居られる方は、ご家族様に相談し、定期的に電話で本人と話ができるように支援したい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族会・地域交流会を通じて馴染みの方々の訪問を奨励し、また、いつでもゆっくりと過ごしていただけるよう支援している。	○ 友人・知人が来られた時は、その都度ご家族様に報告している。
(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修・ミーティングにて意見交換を行い、スタッフ全員の身体拘束についての理解を徹底している。	○ 解らない事は、そのままにしておかず、勉強会等にてスタッフ間で話し合い、一人で解決しないようにしている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に玄関は開放しており、自由に外出出来るようにしている。	○ 現在の方針を継続して行きたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、3人体制で交互に様子観察を行い、夜間は、夜勤者が入居者様の状況把握を行っている。	○ 安全確認が監視にならない様に心掛けたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや爪切りなど、自分で使用しても危なくない方には、本人へ渡している。また、随時、保管場所にしまっているか、確認している。	○ 危険防止には、常に取り組んで行きたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員研修・ミーティング等を定期的に関き、随時、緊急時における対応の訓練を行っている。	○ 職員全員、普通救命救急の講習を受けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急の講習、防災訓練を定期的に行っている。	○ 救命救急の講習、防災訓練がその場だけの物にならず、定期的に勉強の一環として、スタッフ間でも行ってきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防避難訓練にて、災害時の対処法を勉強している。日頃より、地域の方々とは交流会を通じてコミュニケーションを図っている。	○ 防災訓練に参加できないか、地域住民にも相談して行きたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒の危険性・健康状態など、面会時・お手紙・電話等で報告を行っている。	○ 入居者様は肉体的・精神的にも高齢の為、能力低下してきている事を、家族説明し、不可効力的要素によるリスクについて相互理解を求めている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルを測り、異常がみられた時は協力病院Dr.へ連絡し相談している。	○ 入居者様の状態・変化がないか、見落としがない様に確実に把握して行きたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の申し送り・ミーティング等にて薬効や用途を勉強し入居者様の日々の変化について観察している。	○ 服用時の支援を行い、状況に変化がある場合は、協力病院へ連絡し指示を仰いでいる。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取量を把握し、消化の良い物を提供している。	○ 便秘による影響を考え、協力病院Dr.とも相談していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声かけ誘導できない人は、スタッフによる介助にて支援している。	○ ご家族様より、ポリデントによる洗浄希望があった為、他の入居者様も必要であれば、ご家族様へ相談し取り入れる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎食後のお茶時と記録している。	○ 摂取量が少ない時は代替飲食の提供を行っている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出先から帰って来た時にうがい手洗いをやっている。インフルエンザの予防接種入所時衣類を乾燥機にかける。(感染予防)	○ 流行性の感染症は外部者には面会を控えてもらっている。家族等にも電話で控えて頂くよう連絡を行っている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきん、まな板等の消毒。食料品の買出し時、新鮮なものを選ぶ賞味期限に気をつける。	○ 調理者の手指消毒の徹底を行っている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外観は施設という建物には見えず近隣住宅にとけこんでいる。インターホンを設置している。玄関に「御用の方はインターホン」を鳴らしてくださいと貼ってあり安心して来訪できる。	○ 質の高いサービスの提供がさらにできるよう継続して行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要な箇所にはカーテンをし、テーブルには鉢や生花、手作り花等を飾り、壁は落ち着いた色になるように、配置している。	○ 生活の場の空間をさりげないものとして落ち着いた居心地の良い物としたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で一緒にくつろぎ談笑するテレビの前と、一人でゆったり出来るようにこと、二箇所ソファを置くくつろげるように工夫している。	○ 少人数でお茶を囲めるようなテーブルの配置、和室の利用を考えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様へ尋ね、本人の馴染みのものを居室へ飾ったり、置いている。	○	子供部屋にならないような居室作りを行いたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝居室、フロアー、トイレ等の換気を行う。常に室内の温度を気にかけており外気温にあわせ冷暖房を入れる。	○	利用者の状況に合わせた換気を行う。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物、バリアフリー設計になっており、入居者の方々の生活に十分に役立つように工夫してある。	○	入居者様が使いやすいように意見を聞きながら工夫していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の方々個々と話をする時間を設けて、落ち着いた生活を過ごせるように支援し、自立した生活が送れるよう工夫する。	○	入居者様・御家族様に承諾をえて居室前に名前を表示し、本人らしい居室を作り上げていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設にゆっくりとした庭を設けてあり、季節に合わせた花を植えたり、畑を作り野菜等を植え、入居者様方に楽しんでいたっている。	○	外に出る機会を増やしていきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

運営推進会議の活用により、地域の行事への参加も増え、ホームにおいても家族も含めた地域との交流活動も積極的に行って来ました。家族会、誕生会の充実やボランティアの訪問も更に増えるように、地域行政や関係機関に働きかけて行きたいと思っています。また利用者の方々がホームの庭にて花見をしたり、日光浴、茶話会をしたりと日々充実して過ごして頂けるようにスタッフも努めています。桜島を望む庭の一角で、菜園を作り、季節の新鮮な野菜と一緒に収穫したり生きがいのある生活が送れるように努めています。